



行政サービス施策等の市民への周知について

Q 市にはさまざまな施策・サービスがあるが、市民に周知が不徹底な事例が多くある。ホームページ、広報をはじめ窓口での説明など各担当課の創意工夫が必要と思うが検討を。

郡司 伶子

A そのために、職員の間で研修を実施する予定です。研修では行政サービスなどの周知の必要性や皆さんにより多く利用してもらおうという意識付けと、内容が市民にわかりやすいよう創意工夫すること、及び接遇の研修を合わせて実施することを考えています。



Q 市のホームページは3月を目途に見る人に見やすく、情報を提供する側にも扱いやすいようにリニューアル作業を実施しています。終了後は、各担当課でデータ作成・入力・更新ができるので、よりきめ細やかな情報提供ができるようになります。

A 市のホームページは3月を目途に見る人に見やすく、情報を提供する側にも扱いやすいようにリニューアル作業を実施しています。終了後は、各担当課でデータ作成・入力・更新ができるので、よりきめ細やかな情報提供ができるようになります。

地球温暖化対策について

Q 八潮市としての循環型社会の考え方及び市民に對してのその周知と意識向上並びに環境教育について

吉田 準一

A 各地域で見直されているバイオマスエネルギーの活用について、本市の今後の取り組みについて

A バイオマスエネルギーについては、まだ、給油施設の設置数や燃焼装置まで安定供給する方法などについて課題があり、今後検討してまいりたいと思います。

A 本市でも地球環境問題が世界共通の課題であることを認識し、環境の改善を率先して取り組むため、環境マネジメントシステムISO14001の認証を平成16年12月に取得し、施策・事業の実施を通して環境改善や循環型社会の構築

ゼロトレランス方式による学校教育について

Q ゼロトレランス方式とは、生徒の自主性に任せる放任主義ではなく、不寛容を是とし、細部まで罰則を定めそれに違反した場合は厳密に処分を行う方式であります。アメリカでは、荒れた学校に対し最も実効性のあつた方式と報告されておりあります。国内でもこの方式の考え方を研究し、全公立学校に「生徒指導体制の在り方についての調査研究」報告書が配布されました。本市にて、この方式を導入した場合の期待される効果と問題点、また、一方で愛情あふれる教育も大切だと言われているようですが、見解をお聞かせ

森 伸一

ください。

A 喫煙、いじめ、暴力行為、不登校に関わる問題等に対し、学校が自信を持って「だめなものだめ」と毅然とした粘り強い指導をすることで、規範意識や倫理観を育むことが出来ると考えます。一方で、様々な背景や家庭環境をもつ児童生徒に対し、きめ細やかな指導が求められておりますので、状況に応じてこの方式の考えを取り入れる必要があると思われま

清潔できれいなまちづくりの推進について

Q 平成16年9月に「八潮市空き缶等のポイ捨て及び飼犬のふんの放置の防止に関する条例」が制定されているが、市内を通過する方や初めて市内に来る方にも罰則規定を含めて啓発する必要があると思うが、どのような考えか伺います。

服部 清二

A のと考えておりますが、車両でお越しになる方、あるいは通過する方に対する啓発については引き続き、効果的な方法について調査研究をしていきたいと存じます。

A 市民の皆様はもとより、市内に来る方、通過する方にも啓発していくことにより、より一層の効果が上がるものと認識しています。こうしたことから、定期的に八潮駅前、環境美化指導員が啓発活動を行っており、効果が上がっているも



北部地区の開発について

Q 北部地区の外環八潮複合型パーキングエリア計画について、今後の進め方をお伺いします。

戸川須美子

A 外環八潮パーキングエリアにつきましては、東日本高速道路株式会社と独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構との協定により、平成28年3月31日を工事完成予定年月日と位置付けされています。

市としては、引き続き外環八潮複合型パーキングエリア整備促進期成同盟会に対し支援を行いますとともに、八潮市八條地区北部まちづくり協議会に対し、外環道の千葉県側の状況は、本格的着手に向けての準備として、道路専用部の用地買収が進んでおり、進捗状況は、全体として89パーセントとなっております。

校舎の耐震補強について

Q 市内小・中学校の第一次耐震診断(平成10年)では、大原中教室棟(0.15)、中川小教室棟(0.26)、八條北小教室棟(0.17)、松の木小管理棟(0.23)、大瀬小管理教室棟(0.29)、柳之宮小教室棟(0.19)、八幡中管理・教室棟(0.28)は、I s値(構造耐震指数)が極端に低く、これらの数値は旧建設省告示では、震度6程度の地震で倒壊、または崩壊する危険性が高いとされており、大変危険です。平成10年に作成した補強工事計画では終了年度が平成30年で遅すぎる。ことも達の学びの場

矢澤江美子

A であり災害の際の避難所にもなる為、終了時期をもっと早める必要がある。緊急課題にするために、市長の政治判断が必要ではないか。何年に終了予定か。

A I s値の低い学校については、整備の緊急性を十分認識している。市の重要課題のひとつとして位置づけ、計画的に耐震化に努めたい。補強工事はお金がかかること、耐震補強を実施する校舎が42棟あることから平成30年を予定している。